

パナホームグループ 環境・社会報告書

エコライフレポート2009



パナホームは
地球のために、くらしのために
「一歩先のエコ」をめざします。



あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome

エコアイディアの 家にくらそう

いまや地球環境問題は、「待ったなし」の状況です。国、企業、そして国民一人ひとりが、“環境保全”への取り組みのレベルとスピードを上げることが、非常に重要な時代です。

パナホームは、住まいのご提供とくらしのサポートを通じて、ご家族の資産づくりと快適な暮らしをお手伝いしていますが、誰もが、良い住まいに末長く快適にくらしたいと思うのと同じように、地球は人類にとってのかけがえのない資産であり、いつまでも美しい地球に住み続けたいものです。

パナホームは、安全・安心、健康・快適にくらしながら、地球環境を守る「エコアイディア」を形にした“人と地球にやさしい「エコライフ住宅」”をご提案してきました。2008年度はその実績が認められ、主力商品の「エルソーラナ」が、オール電化住宅の省エネ表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2008」の“大賞”を受賞いたしました。他にも国土交通省「住宅・建築物 省CO₂推進モデル事業」への採択、ソーラー発電システムを採用した住宅による街づくりが「新エネ百選」に選ばれるなど、“環境・省エネ”で高い評価をいただくことができました。また、私たちの事業活動である「家づくり」の全てのプロセスにおいて、全員参加の「エコアイディア」で、CO₂排出量削減のためのさまざまな取り組みを継続して行っています。

本誌では、これらのパナホームの環境・省エネへの取り組みを紹介していますが、併せて全国各地の「宿泊体験モデルハウス」では、パナホームの住み心地と、パナソニックグループの家電・設備を含めた「エコアイディア」を、実際にご体験いただくことができます。

今後も、パナソニックグループのパナホームならではの「エコアイディア」に磨きをかけ、グループの総合力により、『家まるごと』で環境・省エネ性能を向上させ、住まいの快適性を高めるとともに、事業活動においては、CO₂排出量の削減をはじめとする環境負荷の低減に努めてまいります。

これからのパナホームの環境活動に対して、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。



パナホーム株式会社
代表取締役社長

上田 勉

パナソニックグループでは、すべての活動において「一歩先のエコ」をめざすべく、以下の3つの重点取り組みをまとめた「エコアイデア宣言」を2007年10月に実施し、現在、さまざまな活動を展開しています。

商品のエコアイデア…………… P3~6

私たちは、省エネ商品をおとどけします

最も重要なテーマである地球温暖化対策を中心として、省エネルギー No.1 商品を増やし、材料への配慮やリサイクル設計など環境配慮製品の開発を加速します。



モノづくりのエコアイデア… P7~10

私たちは、CO₂の排出量を減らします

生産活動におけるCO₂排出量を総量で削減することを主軸にしながら、すべてのモノづくりのプロセスで生産性向上を図り、活動全般にわたりCO₂排出量を削減します。



ひろげるエコアイデア…………… P11~13

私たちは、エコ活動を世界中にひろげます

従業員やその家族によるエコ活動を主軸にして、社会の皆さまとともに「エコ」を地域社会やグローバルに広げる活動を展開していきます。



パナホームは地球のために、くらしのために
「一歩先のエコ」をめざします。

「エコライフレポート2009」について…………… P13

会社概要…………… P14

1

eco
ideas商品の
エコアイディア

「エルソーラーナ」が ハウス・オブ・ザ・イヤー・ イン・エレクトリック2008

大賞



受賞

HOUSE
OF THE YEAR
IN ELECTRIC

2008



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリックとは？

住宅本体と設備をあわせたトータルな省エネルギー性能を評価する、オール電化住宅の表彰制度。財団法人 日本地域開発センター（主務官庁：国土交通省）が主催し、2007年から開始されました。

パナホームは、前年も「ソーラーナシリーズ」で特別賞を受賞しています。

評価基準である“4つの視点”に対するパナホームの答え

「省エネ」で、地球環境に貢献しながら、光熱費も抑えます

視点
1

住宅の断熱・設備の省エネ

・一定の条件下での、冷暖房・給湯・換気用エネルギー消費量を算定し、省エネルギー性能値を評価

Answer：相乗効果で、評価水準を超える高い省エネ性能

- ・優れた「断熱性能」（次世代省エネルギー基準）
- ・自然・機械換気併用の独自のハイブリッド換気システム
→「エコライフ換気システム／ピュアテック」
- ・「省エネ設備」（パナソニック製エアコン・エコキュート）の導入

視点
2

トータルな省エネへの工夫、先進性

- ・設備・躯体設計・空間設計等への工夫
- ・住まい方への提案（販売時、居住時）等

Answer：先進的・独自の工夫で、さらに省エネ

- ・「ソーラー発電システム」の標準仕様
- ・最適なエアコン設置提案



eco
ideas

大賞受賞の「エルソーラー」を
さらに進化させ、
NEW「エルソーラー」を発売

地球のために

CO₂ 排出量 年間 約 **2.9t** 削減

くらしのために

光熱費 年間 約 **22.4** 万円 節約

新省エネルギー
基準住宅

約 3.5t/年

ユールキア We
(ソーラーなし)

約 1.8t/年

約 1.7t/年削減

NEW
エルソーラー
(ソーラーあり)

約 2.9t/年削減

約 0.6t/年

〔試算条件(2009年1月現在)〕◎新省エネルギー基準レベル住宅(電気・ガス併用)と当社「エルソーラー」(オール電化・ソーラー発電システム3kW)を独自試算にて比較。◎当社モデルプラン、大阪地区、4人家族、冷暖房はエアコンを想定。◎建築地での電気・ガス供給会社のCO₂排出係数・料金単価を使用。※算出した数値は目安であり、それを保証するものではありません。また、試算には設備機器の初期費用(機器および工事費)は含まれません。

Check

2008年8月

商品開発部門がISO14001の認証を取得

従来の商品開発段階の品質マネジメントシステムに、住宅や設備の環境配慮設計を融合し、“品質管理”と“環境性能”の向上を両立させる、工業化住宅業界で初の「品質・環境複合マネジメントシステム」を構築しました。

2008年12月

パナソニック「GP認定」制度の運用を開始

環境に与える影響を企画・設計段階に評価し、環境性能が向上する住宅の開発を実現するため、パナソニックに則した認定基準を設定。断熱性能などを向上させた2009年1月の新商品より運用を開始しました。

視点
3

住宅としての性能と省エネとのバランス

・快適性、安全性、耐久性、利便性、品質保証等との
バランス・連携 等

Answer：住宅としての基本性能の高さと付加機能

- ・頑強な基本構造による住宅の長寿命化→「耐震構造／パワテック」
- ・セルフクリーニング効果で、いつまでも美しくメンテナンスも軽減
→光触媒技術を活用した「タイル外壁／キラテック」
- ・室内空気を清浄に保ち快適に→「エコライフ換気システム／ピュアテック」

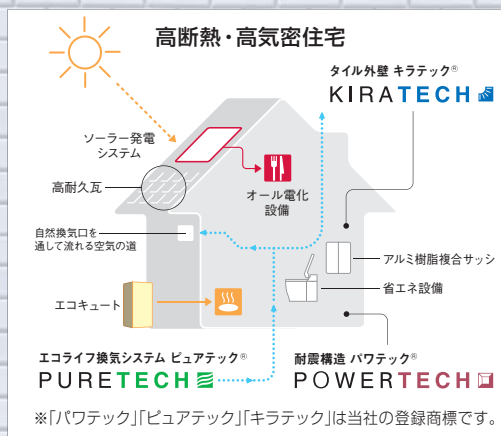
視点
4

省エネ住宅の普及への取り組み

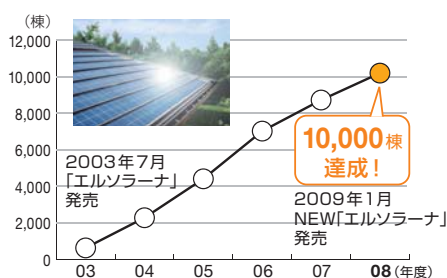
・コストパフォーマンス、供給量実績、
その他普及努力 等

Answer：オール電化のくらしをシミュレーション、そして体験

- ・光熱費削減状況も分かる「環境性能シミュレーションシステム」の活用
- ・全国で約50カ所の「宿泊体験モデルハウス」の運営(詳細は、P13)



ソーラー発電システム出荷の累積実績



ハウス・オブ・ザ・イヤーでは、実際に建築された住宅シリーズを表彰対象としています。

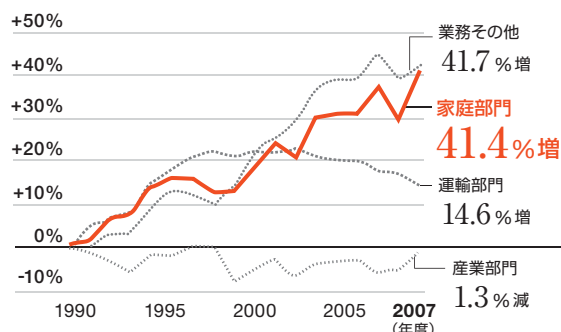
一歩先のエコアイディアと パナホームならではの 技術を融合させた提案

(エコライフタウン練馬高野台：4月撮影)

家庭やオフィスで使うエネルギーの増加に伴い、CO₂排出量も増えています。(右グラフ参照)

快適にしながら、もっと省エネができれば、地球温暖化防止だけではなく、光熱費も抑えられます。こうしてスタートしたのが「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」です。また、「ソーラー発電システム」をはじめとした「新エネルギー」の活用が期待されています。全国の優れた新エネ導入の事例を選定するのが、「新エネ百選」です。

増加し続ける家庭部門のCO₂排出量増加率
(1990年度比・国内)



温室効果ガスインベントリオフィスの部門別排出量データを元に作成

日本初の「新エネ百選」に選定

担当者の声



エコライフへの関心と
商品力の高さを実感

2004年から分譲を開始し、当社のコンセプトである人と地球にやさしい「エコライフ住宅」を象徴する大規模住宅団地として、全戸にソーラー発電システムと発電・消費電力量を表示する発電モニタを設置しています。エコライフへの、社員の強い思いとお客さまの積極的な実践が、この団地の完成の原動力となりました。今回の選定の知らせをお客さまとともに喜び、引き続きエコアイディアへの取り組みを続けてまいります。

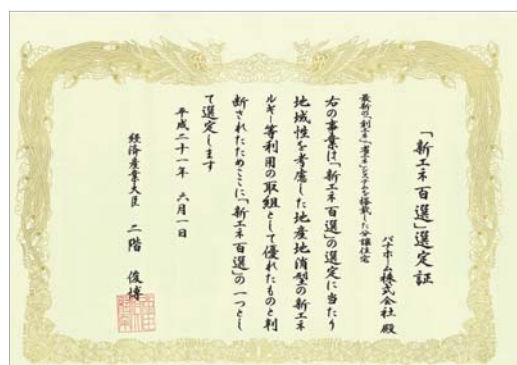


神戸支社 北田 浩之



各戸に設置の
発電モニタ

パナホームシティ西神南Ⅰ・Ⅱ(全100戸)
(2009年4月22日 経済産業省・独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)公表)



全100戸の住宅にソーラー発電システムと発電モニタを設置

「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」

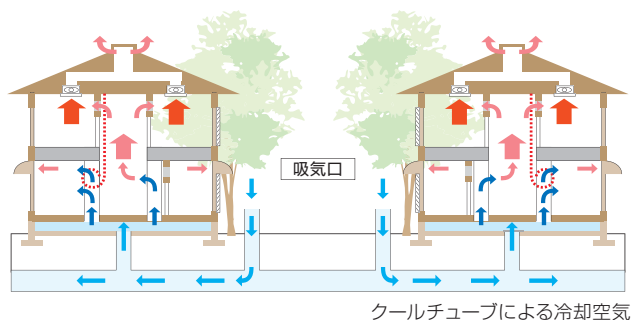
第1回

ハイブリッド換気住宅による ゼロエネルギータウン・プロジェクト

東京支社：エコライフタウン練馬高野台(10戸)



ウォーム&クールチューブの概念図



クールチューブによる冷却空気

担当者の声



ウォーム&クールチューブ による街づくり

住宅単体と街全体で可能なことを組み合わせた提案が、評価されました。個々の住宅をウォーム&クールチューブで連結。地中埋設したチューブへ外気を導入します。

地熱により夏は冷やされ、冬は暖められた空気をハイブリッド換気システムで住まいに取り込み、冷暖房エネルギーの削減に貢献。さらに、自動散水システムや遮熱網戸などの省CO₂アイテムを導入し、居住環境の向上を図りました。お客さまにも、大変ご好評をいただいております。



外気を導入する吸気口



東京支社 安島 浩明

第2回

家・街まるごとエネルギーECO マネジメントシステム

東京ガス供給エリアでの建設を予定(30戸)

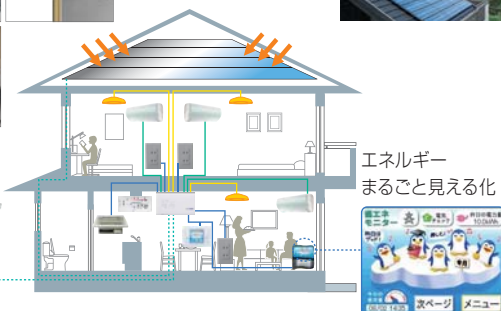
Ⅲ 地域断熱



ソーラー発電システム



燃料電池



この他に住宅の長寿命化をねらいに、耐久性やメンテナンス性を向上させる「超長期住宅先導的モデル事業」にも採択されました。今後も、これらの実績と新たな「商品のエコアイデア」でさらに進化した“人と地球にやさしいエコライフ住宅”を、お届けしてまいります。

担当者の声



W発電+ECO マネシステム+省エネ コンサルでCO₂プラスマイナスゼロ住宅

ハード技術として、①ソーラー発電と燃料電池「エネファーム」のダブル発電にて電気エネルギーを自給、②世界初W発電対応のECOマネジメントシステムにより、日々の電気・ガス消費量と創エネルギー量が見える化。

ソフト技術としては、各家庭でのエネルギーデータを分析し、四季毎の省エネルギーコンサルティングにより、居住者にわかりやすく、効率の良い省エネを啓発。これらの技術のアプローチにより、CO₂プラスマイナスゼロ(排出量と削減量トータルゼロ)をめざします。



住宅・技術研究所 天野 至康

3 eco ideas モノづくりのエコアイデア

家づくりに かかわる CO₂排出量 削減状況



パナソニックグループは、「全ての事業活動で環境負荷を削減」することを重要なテーマとしています。なかでも生産活動におけるCO₂排出量については、全世界で2009年度に2006年度比で30万トン进行削減し、2010年度に2000年度水準へ削減することをめざしています。パナホームも、パナソニックグループの住宅会社として計画に則り、「家づくり」の全ての事業活動で環境負荷を削減することをめざします。

2008年度、パナホームは全事業活動からのCO₂排出量を、前年度より12%削減しました。

事業活動のCO₂排出量

2007年度CO ₂ 排出量 62,653 t-CO ₂				
社用車・事務所 27,691	生産 10,667	物流 12,874	施工 11,421	
2008年度CO ₂ 排出量 55,042 t-CO ₂				
社用車 15,066	事務所 9,399	生産 8,072	物流 11,936	施工 10,569

12%削減 ←

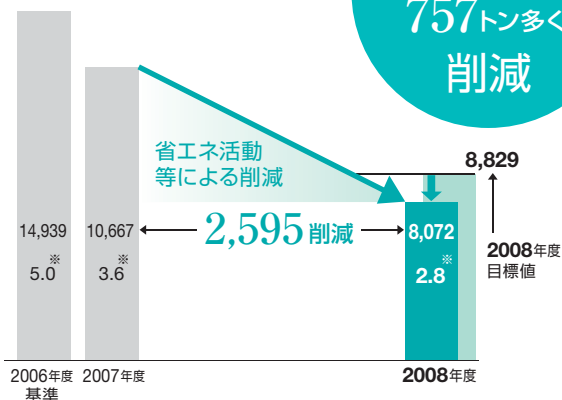
パナホーム(戸建)の建築時に排出されるCO₂に換算すると、1棟あたり約6,400kg-CO₂となります。

「生産段階」でのCO₂削減状況

2008年度の削減目標を達成

パナホームの人と地球にやさしいエコライフ住宅は、工場で部材生産を行う工業化住宅です。生産の効率を高めながら省エネ活動を実施し、着実にCO₂排出量を削減しています。

生産部門のCO₂排出量 (t)



売上高 2,968億円 2,936億円

2,846億円

※売上高原単位=CO₂排出量を売上高で割った値(t-CO₂/億円)

Check

- 事例1 照明器具の更新時に、個別消灯を可能にしました。照明毎に管理者を決めています。



高効率照明器具への更新(本社工場)

- 事例2 工場内や事務所にエネルギー測定器を設置。エネルギーを時間毎に見える化し、CO₂削減を図っています。



エネルギー監視システムの導入(筑波工場)





「物流段階」でのCO₂削減状況

住宅業界初！エコシップモーダルシフト 優良事業者に認定

本社工場（滋賀県）と筑波工場（茨城県）から、全国各地の建築現場に住宅部材を輸送するため、少しでもCO₂排出量を削減するよう努めています。特に、九州地区への輸送には、陸路から海路へのモーダルシフトを実施しており、国土交通省が推進する「エコシップ・モーダルシフト優良事業者」の認定を受けるとともにその功績が表彰されました。今回の認定は、住宅業界およびパナソニックグループでも初めてとなります。

また、全国8拠点に「ECOセンター」を整備し、建築現場への効率的な最適配送、現場にて分別された資源の回収業務により、さらなるCO₂排出量削減と資源の有効活用を図っています。



- ① 本社工場出発
- ② 大阪南港到着
- ③ 大阪南港乗船
- ④ 新門司港下船
- ⑤ 九州中継センター到着（ECOセンター併設）



「その他の段階」でのCO₂削減状況

事務所や住宅展示場、当社のショールーム「住まいとくらしの情報館」において、白熱灯の抜き取りや電球型蛍光灯へ切り替えることで照明エネルギーの削減を図りました。

また、社用車の軽自動車への切替やエコカー化や電照看板のライトダウンを進めています。



4 eco ideas モノづくりのエコアイデア

パナホームの主な環境負荷

パナホームの家づくりが地球環境に与える環境負荷を、2008年度も継続して削減することができました。これは、地球温暖化に代表される地球環境問題の解決へ全員が取り組んだ結果といえます。2009年度もそれぞれの環境負荷に新たな目標を設定し、継続した活動を展開してまいります。

目的	部門	INPUT	OUTPUT	2008年度 目標と実績	2009年度 目標
地球温暖化防止	生産	総発熱量 182,310GJ エネルギー 電力 16,012千kWh A重油 361kl LPG 17千kg ブタン 26千kg 灯油 27kl 軽油 127kl バイオ軽油 14kl	CO₂排出量 8,072t-CO₂ (t-CO₂) ■ CO₂排出量 ○ 売上高原単位 00 05 06 07 08 (年度) 9.91 6.47 5.03 3.63 2.84 25,567 17,628 14,939 10,667 8,072	自己評価 【目標】 CO₂排出量 8,829 t-CO₂以下 【実績】 8,072 t-CO₂	CO ₂ 排出量 8,003 t-CO ₂ 以下
	物流	総発熱量 173,936GJ エネルギー 軽油 4,073kl 重油(鉄道) 0.2kl 重油(内航) 152kl 軽油(廃棄物物流) 304kl 梱包資材 紙容器(ダンボール除く) 1.7t 紙製包装 90.6t プラスチック容器 19.3t プラスチック製包装 48.9t	CO₂排出量 11,936t-CO₂ (t-CO₂) ■ CO₂排出量 ○ 原単位(供給延床) 06 07 08 (年度) 12.6 11.2 10.8 16,338 12,874 11,936	自己評価 【目標】 CO₂排出量 延床面積当り 前年度比 -1% 【実績】 -3.6% (2007年度比)	CO ₂ 排出量 延床面積当り -1% (2008年度比)
	事務所	総発熱量 449,132GJ エネルギー 電力 21,108千kWh 熱量 8,105GJ LPG 17千m ³ 都市ガス 18千m ³ 灯油 16kl 軽油 124kl ガソリン 6,348kl 水資源 水 98.5千m ³	CO₂排出量 24,465t-CO₂ (t-CO₂) ■ CO₂排出量 05 06 07 08 (年度) 28,000 28,063 27,691 24,465	自己評価 【目標】 CO₂排出量 -1% (2007年度比) 【実績】 -11.6% (2007年度比)	CO ₂ 排出量 -1% (2008年度比)

共通：CO₂排出量 = 各エネルギー消費量×CO₂排出量原単位(電力は電気事業連合会発表係数、
 その他エネルギーは環境省「温室効果ガス排出量算定方法」による)

データの算出について(地球温暖化防止)

生産：エネルギー = 2008年度における自社2工場の実績データ

物流：エネルギー = 2008年度における、物流実績データ

事務所：エネルギー = 2008年度における自社およびパナホーム協業会社の実績データおよびサンプルデータ

施工：サンプルデータ(建機の稼働時間・燃費・台数・移動距離、職人の移動距離・人工数)と供給実績からの換算

自己評価基準



2008年度目標を達成しました。



前年度より改善しましたが、
2008年度目標は達成できませんでした。



前年度から改善されませんでした。

目的	部門	OUTPUT	2008年度目標	2008年度実績	2009年度目標
省資源	生産	廃棄物 産業廃棄物 4,454t 有価物 2,015t	発生削減率 -3%以上 (2007年度比)	自己評価 😊 発生削減率 -3.3%※ (2007年度比)	発生削減率 -3% (2008年度比)
	施工	廃棄物 建設副産物排出量 新築産業廃棄物 29,053t 解体産業廃棄物 (増改築含む) 98,388t	工法の見直し、 梱包形態の 追求	自己評価 😊 供給 延床面積当り 前年度比 -0.4kg (2007年度比)	工法の見直し、 梱包形態の 追求を継続
省資源(水資源)	生産	使用量 123,841m³ 上水道 44,691m³ 工業用水 8,424m³ 地下水 68,726m³	改善率 -3% (2007年度比)	自己評価 😊 改善率 -3.4%※ (2007年度比)	改善率 -3% (2008年度比)
	化学物質	排出移動量 パナソニック重点削減対象物質 28.33t (PRTR法対象物質) 8.67t	パナソニック 重点削減対象物質 排出・移動量 改善率 -2% (2007年度比) 排出移動量 -6% (2005年度比)	自己評価 😊 改善率 -4%※ (2007年度比) 排出移動量 -75.8% (2005年度比)	パナソニック 重点削減対象物質 排出・移動量 改善率 -2% (2008年度比)

※年度途中の削減対策を一年間の効果に換算した排出量または使用量 ÷ 前年度の実績で算出

データの算出について(省資源・水・化学物質)

生産：廃棄物・水・化学物質 = 2008年度における自社2工場の実績データ

施工：廃棄物 = 2008年度における自社およびパナホーム協会会社の実績データおよびサンプルデータ

5 eco ideas ひろげる エコアイディア

エコアイディアをひろげています

パナホームグループは、パナソニックグループの一員としてパナソニックエコリレーに参加しました。

普段から実施している清掃活動や地域環境イベントに出展するなど、全国17カ所で約540人が取り組みました。



パナソニックエコリレーとは？

パナソニックの社名変更(2008年10月1日)を機に、一人ひとりが「一歩先のエコ」を実践するため、グループの結束を強化し地球環境との共存に貢献することを目的に、環境活動を世界各国の従業員でリレーする活動です。

(実施期間：2008年10月4日～16日)

環境コミュニケーション活動

第7回ガーデニング大賞

パナホームにお住まいの皆さまより個性あふれる美しいお庭をご応募いただき、グランプリをはじめ、各賞を2003年度から毎年発表しています。



神奈川県 クールネッサンス約束状(神奈川支社)

温暖化防止のため、県内の当社戸建住宅の建築時に、CASBE E-すまい(戸建)の評価を実施する約束状を松沢県知事に提出しました。



大阪府 ストップ温暖化エコリレー (大阪支社 大阪営業部)

「エコ・ランナー」として環境活動をリレー形式でつなぎ、活動の輪を広げる大阪府の取り組みの第一走者となりました。



サンゴ移植活動(沖縄支店)

ご契約後、お客さまに代わってサンゴの移植を行い、記念プレートと「海からの感謝状」をお渡ししています。沖縄ならではの地域・地球環境貢献活動です。



- ① 新築施工現場の近隣の清掃
- ② 国道の清掃・美化ボランティア
- ③ 地方自治体の環境展への出展
- ④ 本社ビル周辺の清掃活動



全員参加でエコアイデアを実践するために

「環境家計簿」の取り組み

自らのライフスタイルを環境配慮型に変え、その意識を事業活動に生かしていくことを目的とし、全社員に配布しました。環境配慮意識の高まりから約2,000名の社員が、各家庭でのCO₂排出量削減に取り組みました。

Check

「環境家計簿」とは？

- ① 家庭でのエネルギー使用量などを記録
- ② CO₂排出量を算出
- ③ 月々の増減をチェック

パナソニックグループでは、労使で展開している、LE活動※(地球を愛する市民活動)の主要な取り組みとして推進しています。※LE: Love the Earth

「環境教育eラーニング※」を年2回実施

パナホームグループの全社員を対象に、6月の環境月間と2月の省エネルギー月間に実施しました。個人の知識とグループ全体の環境活動のレベルアップのため、今後も継続的に実施します。

※ネットワーク・パソコンを利用した教育システム

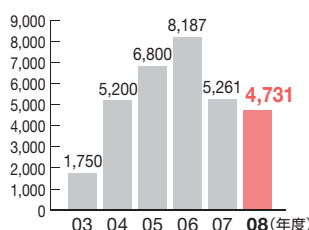
2008年度 お客さまと一緒に実施した環境貢献

創エネ・省エネ設備を採用した、エコライフ住宅をより多くご提案し、お客さまにエコライフな毎日をお過ごしいただくことが、お客さまとパナホームが一緒にできる地球環境貢献と考えています。

これらの“創エネ・省エネ”設備によるCO₂削減効果

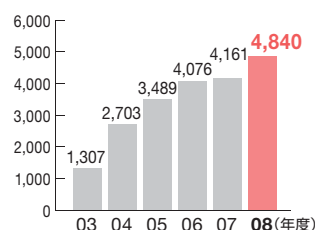
約 **5,585** t-CO₂/年

ソーラー発電システム出荷量(kW)

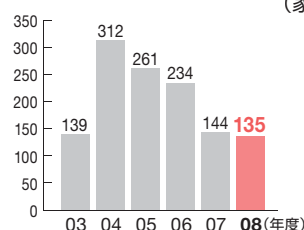


※CO₂削減効果:2008年度出荷量×当社基準による試算

エコキュート出荷台数(台)



エコウィル出荷台数(台)



エネファーム設置台数
(家庭用燃料電池)



18台(東京ガスエリア)

光触媒技術の外壁タイル“キラテック”による大気浄化効果

ポプラの木 **64,734** 本分

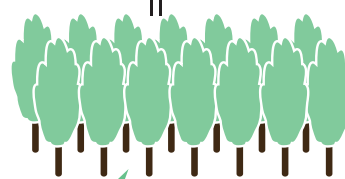
(東京ドーム約35個分の森林面積※に相当)
※高さ10m程度のポプラの枝張を
5m×5m=25m²として試算

NO_x浄化メカニズム

大気汚染物質のNO_xは、光触媒作用の分解力により無害な物質に変化します。200m²でポプラ約14本分の植林同等の環境貢献(大気浄化)が可能です。



キラテックタイル
200m²



ポプラ約14本分の分解力

(TOTO実験値)

6 eco ideas ひろげる エコアイディア

エコアイディアを体験してください

今の暮らし

家まるごとの「エコアイディア」が体験できる 宿泊体験モデルハウス

住宅ご購入検討時に、エコライフ住宅の住み心地やパナソニックの省エネ家電や設備機器の使い勝手を体験できます。現在、全国で約50棟がオープン中で、2009年度には、約100棟の稼働をめざしています。このモデルハウスは、一定期間後売却するため、通常の展示場と異なり短期間で解体がなく、資源の有効活用にもつながります。(賃貸住宅でも「宿泊体験モデルルーム」を展開しています。)



①② 家族みんなで楽しい夕食。IHクッキングヒーターの使い易さや片付けの手軽さを、実際に体験できます。

③④ 泊まってからこそ実感できる、楽しくて快適な暮らし。毎日を豊かにする、パナホームの提案が満載です。

「宿泊体験モデルハウス」は、建築物総合環境性能評価システムCASBEEーすまい(戸建)による最高のSランク(★★★★★)を基本としています。

201X年家まるごと「CO₂±0(ゼロ)」の暮らし

「エコアイディアハウス」を開設

エネルギーを「へらす・つくる・ためる」―省エネ(機器、建物断熱、HEMS※)・創エネ(太陽光発電・燃料電池)・蓄エネ(蓄電池)の活用と、風・光・水・熱などの自然の恵みを採り入れることで、家まるごと「CO₂±0(ゼロ)」の生活を実現する、パナソニックグループの最新技術とノウハウで構成した、暮らし提案型のショールームです。

※HEMS: ホームエネルギーマネジメントシステム

自然の力を活かした換気システムでCO₂オフ



夏涼しく、冬暖かい
床下の空気を取り込み、
家中に送る。

エコライフ換気システム 呼吸の道タワーS



エコアイディアハウス
(パナソニックセンター東京)

eco ideas HOUSE



おうちまるごとのエコのコーナー
(パナソニックセンター大阪)

「エコライフレポート2009」について

本誌は、パナホームグループの環境・社会活動を多くの方にご覧いただき、そのご意見を今後の活動に反映するためのコミュニケーションツールとして作成しています。

・冊子版は、2008年度のパナホームの「3つのエコアイディア」の活動を重点的に掲載しています。

・Web版では、冊子版の内容に加え、環境活動の詳細や社会性報告を掲載しています。

【環境報告】

- 環境マネジメント・あゆみ
- 環境パフォーマンスデータ
- サイトレポート(2工場)

冊子版

- 商品のエコアイディア
- モノづくりのエコアイディア
- ひろげるエコアイディア

【社会性報告】

- 品質・CS活動
- コンプライアンス
- 誰もが働きやすい職場をめざして
- 社会貢献活動

Web版

さまざまなくらしの夢に技術と信頼でお応えする、
私たちはパナソニックグループの住宅会社です。



会社概要

社 名 パナホーム株式会社
本社所在地 〒560-8543
大阪府豊中市新千里西町1丁目1番4号
TEL 06-6834-5111(代)
設 立 1963年(昭和38年)7月1日
決 算 期 3月31日
資 本 金 283億7,592万3,130円
従 業 員 数 4,273名(2009年3月31日現在)

パナホームの事業

ブランド・ポリシー

あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome

パナホームは「あなたと夢を、ごいっしょに。」をブランドスローガンに定め、お客さまの夢を一番大切に考える企業をめざしています。社員一人ひとりの行動が、夢と信頼のパナホームブランドを築き上げるということを認識し、パナソニックグループの総合力を生かした「住まいとくらしの総合産業」として、お客さまに、そして地球に貢献していきたいと考えています。

WEB ブランド・ポリシー
www.panahome.jp/dream/policy.htm

主な営業拠点・工場 (2009年3月31日現在)

パナホーム(株): 支社・支店24カ所、工場2カ所
パナホームグループ: パナホーム協業会社20社、
パナホーム不動産(株)、(株)ナテックス

(連結子会社13社および持分法適用関連会社14社を中心に構成)
上記以外にパナホーム代理店がございます。

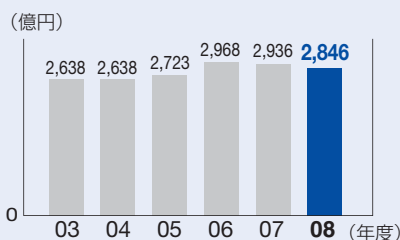
	東部	中部	近畿	中四国	九州・沖縄
支社・支店数	9	5	5	3	2
パナホーム協業会社数(社)	6	5	5	—	4

本レポートの対象範囲

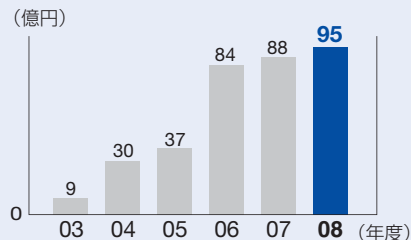
組織: パナホーム(株)およびパナホームグループ(但し、代理店を除く)
期間: 2008年4月1日～2009年3月31日
分野: パナホームの事業全般

経営データ(連結)

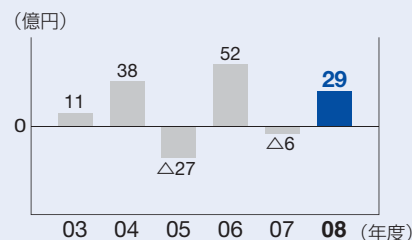
●売上高



●営業利益



●当期純利益



なお、作成にあたっては「環境報告書ガイドライン:2007年度版」(環境省)
「GRIガイドライン:第3版」(Global Reporting Initiative)を参考にしました。
<次回発行>2010年6月を予定

WEB 環境保全活動サイト
<http://www.panahome.jp/environment/index.htm>

<お問い合わせ先>

発行責任者: 品質・環境部 部長 中村 裕
担 当: 品質・環境部 横畑・西島・山田
Tel: 06-6834-4461 Fax: 06-6834-2670
E-mail: kankyo@info.panahome.co.jp

環境報告

パナソニックグループは、「商品のエコアイディア」「モノづくりのエコアイディア」「ひろげるエコアイディア」の3つのエコアイディアで、環境経営を加速させています。パナホームも、パナソニックグループの住宅会社として、確実にその取り組みを前進させています。



環境マネジメント

環境マネジメントシステムが適切に運用され、過去3年にわたり環境関連法に基づく法令違反、罰則、科料、訴訟などはありませんでした。

●パナホームグループ地球環境憲章

基本理念

当社が地球との共生を果たしながら持続的に発展し続けるためには、全社員が地球的視野での着眼のもとに、足元を見つめた堅実な歩みを続けなければならない。地球の資源と環境の有限性への理解のもと、地球との共生を求める持続的発展の可能な社会、国内外を問わず、企業と消費者・地域住民とが相互の信頼のもとに共生する社会、地球環境保護に配慮しながら創造力豊かな企業活動が展開される社会の実現に努めなければならない。

1

産業人としての責務

2

環境保全と資源保護

3

地域社会および国際社会への貢献

(1994年11月9日制定)

●ISO14001 認証取得状況※

事業場	取得年月
本社工場	2003.9
筑波工場	2001.3
神奈川支社	2001.11
埼玉支社・埼玉西パナホーム(株)	2003.3
(株)パナホーム北関東	2001.7
商品開発部門	2008.8

※登録範囲については、財団法人 日本適合性認定協会 www.jab.or.jp でご確認ください。

●パナホームグループ環境方針

パナホームは、お客さまのライフステージに応じた住まいとくらしのサービスをご提案し、住生活とお客さま満足の上昇とともに、地球環境への影響を減らすことをめざします。

そのために、

- 住まいのライフサイクルにおける、資源・エネルギー投入および廃棄物・CO₂排出量の最小限化に努めます。(ライフサイクル:材料・資材の調達・製造・販売・使用を経て廃棄にいたるまで)
- “安全・安心”、“健康・快適”、“創エネ・省エネ”を基本に、住み継がれる生活快適空間を実現します。(パナソニックグループと連携し「家まるごとエコ」を実現します。)
- 全社員が環境活動に取り組めるよう、この方針を周知し、教育および啓発活動に努めます。〔地球温暖化防止(省エネルギー活動)、省資源・資源循環(3R活動)、汚染予防(有害化学物質削減活動)〕
- 環境関連法規制および守るべき環境配慮事項を順守し、行動計画を定め・見直すことで、環境負荷の継続的低減を図ります。

2008年10月1日 社長

環境会計(工場)

●環境コスト

(単位:千円)

環境コスト	設備投資額	費用額
事業エリア内コスト (公害防止、省エネルギー等)	32,450	108,534
上・下流コスト (製品リサイクル等)	0	0
管理活動コスト (環境管理、事業内緑化等)	0	9,050
環境損傷対応コスト (環境事故対応等)	0	0
合計	32,450	117,584

●環境効果

(単位:千円)

環境効果項目	2007年度実績
事業場エネルギー費用の削減 (省エネルギー等)	16,970
廃棄物処理費用の削減 (廃棄物処分、材料ロス等)	37,686
上下水費用の削減 (水使用量削減等)	870
リサイクル品の売却益 (有価物売却益等)	44,538
合計	100,064

パナホームグループのエコ技術、環境活動のあゆみ

年度	エコ技術のあゆみ	環境活動のあゆみ
1961	● 省エネで快適な自然換気(ピュアテック)にこだわった「松下1号型住宅」初公開。	
1978	● 省エネルギー住宅「ソーラーナ」発売。	
1980	● 総合力を結集したソーラーシステム装備の「ソーラーハウス」誕生。	● 省エネルギー住宅設計競技で建設大臣賞を受賞。
1982	● 「ハウス55」が建設省(当時)「省エネルギー性能評価」の第1号を取得。	
1988	● 独自の「空調システム」を開発。	
1990		● 「エコロ30運動」スタート。
1991		● 地球環境改善委員会設置。
1993		● 「環境ふれ愛住宅」を提唱。
1994	● 阪神・淡路大震災(震度7)で全・半壊ゼロ。優れた耐震性能(パワテック)を実証。	● 地球環境改善室設置。(現:品質・環境部) ● 「パナホームグループ地球環境憲章」制定。
1999	● 一般珪藻土の約3倍、湿気を吸放湿して快適な湿度に保つ「珪内珪藻土」の調湿建材を住宅業界で初めて採用。	● (財)住宅・建築省エネルギー機構(当時)「環境共生住宅」認証取得。
2002		● 国内全工場において、ISO14001 認定取得完了および焼却炉の停止。
2003	● 人と地球にやさしい エコライフ住宅「エルソーラーナ」を発売。(①)	● パナホーム「エコライフ住宅宣言」。(②) ● 国内全工場において、ゼロエミッション化を達成。
2004	● 光触媒技術を活用した外壁タイル「キラテック」を装備した「エルソーラーナ キラテック」を発売。	● エネルギー管理優良工場等表彰 エネルギー庁長官表彰(本社工場) ● 「パナホームシティ西神南Ⅰ・Ⅱ」の分譲を開始。
2005	● 「パナホーム・シティ津田山手」が業界初の「環境共生住宅団地」に認定。 ● パナソニックグループの情報受信拠点「Eco&Ud House(イーユーハウス)」設立。	● 地球温暖化防止の取組を強化。(クールビズ、ウォームビズ、ライトダウン活動) ● エネルギー管理優良工場等表彰 エネルギー庁長官表彰(筑波工場) ● 新築施工現場のゼロエミッション化を達成。(沖縄除く)
2006	● 1泊2日、ご家族でパナホームの住み心地とエコ技術を体験できる「宿泊体験モデルハウス」をスタート。	● エネルギー管理優良工場等表彰 経済産業大臣表彰を受賞(本社工場)
2007	● ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2007にて「特別賞」を受賞。(ソーラーナシリーズ)	● パナホームグループ全社員を対象に「環境教育eラーニング」を開始。(年2回) ● パナソニックグループ「エコアイディア宣言」。
2008	● 国土交通省 平成20年度「住宅・建築物省CO ₂ 推進モデル事業(第1・2回)」および「超長期住宅先導的モデル事業(第1回)」に採択。 ● ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2008にて「大賞」を受賞。(エルソーラーナ)	● 第1回「エコシップ・モーダルシフト 優良事業者」の認定。 ● エコシップ・モーダルシフト事業 優良事業者表彰(海事局長賞) ● (財)建築・環境省エネルギー機構「環境共生住宅」(CASBEE 版)認定更新。
2009	● 暮らし提案型のショールーム、パナソニックグループ「エコアイディアハウス」開設。	● 「新エネ百選」に選定。(経済産業省・NEDO主催)(パナホームシティ西神南Ⅰ・Ⅱ)



② パナホーム「エコライフ住宅宣言」

一. パナホームは、技術と自然との調和により、「人と地球にやさしい住まい」をお届けします。

二. パナホームは、事業活動に伴う環境負荷の低減活動を推進します。

三. パナホームは、全社員がそれぞれの立場で環境活動に取り組みます。



環境パフォーマンスデータ

生産

産業廃棄物の内訳

産業廃棄物・有価発生物	廃棄物・有価発生物発生量(t)	再資源化量(t)	最終処分量(t)
汚泥	106	106	0.0
廃油	128	127	0.6
廃プラスチック類	419	419	0.0
紙くず(業種限定)	197	197	0.0
木くず(業種限定)	2,047	2,047	0.0
金属くず	1,561	1,561	0.0
ガラス・陶磁器くず	1,697	1,697	0.0
がれき類	8	8	0.0
その他	265	265	0.0

区分	品目	廃棄物・有価発生物発生量(t)	再資源化量(t)	最終処分量(t)
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	24	24	0.0
	感染性廃棄物	0.01	0.01	0.0
事業系一般廃棄物	紙くず	14	14	0.0
	その他	2	2	0.0

Check

主な改善内容

- ・ボード建材の原板に、サイズを追加することにより、廃棄量を削減。
- ・生産ラインと商品センター間で、輪木(りんぎ)専用の通い函(専用ラック)を作製し、再使用することで、木くずの排出量を削減。

廃棄物(PCB)の保管

	2009年3月現在
本社工場	高圧コンデンサー(4台)
	高圧コンデンサー(2台)微量PCB廃棄物
	照明用コンデンサー(ドラム缶3缶、付着物1缶)
筑波工場	高圧コンデンサー(1台)微量PCB廃棄物

PCB廃棄物の管理については、PCB廃棄物特別措置法に基づいた保管・管理を継続しています。

施工

新築・解体廃棄物の内訳

(単位:t)

廃棄物の種類	新築工事			解体・改装工事		
	排出量	リサイクル量	処分量	排出量	リサイクル量	処分量
木くず	5,045	5,014	31	19,714	18,541	1,172
紙くず	2,594	2,573	20	368	219	149
繊維くず	49	49	0	569	351	218
廃プラスチック	4,072	4,017	55	1,510	838	672
ガラス陶磁器くず	2,955	2,851	104	4,341	3,012	1,328
廃石膏ボード	4,192	4,148	44	2,191	1,220	971
金属くず	1,442	1,434	8	8,642	8,594	48
がれき類	1,276	1,226	49	8,599	5,386	3,213
アスコンから	2	2	0	1,161	958	202
コンクリートから	119	106	14	43,660	42,639	1,021
混合廃棄物	7,307	7,182	125	6,914	2,041	4,873
非飛散性アスベスト	—	—	—	720	0	720
合計	29,053	28,603	450	98,388	83,799	14,588

特定建設資材のリサイクル状況 木くず: 23,555t(排出量の95%)

がれき類: 50,317t(排出量の92%)

新築現場のゼロエミッションについては、沖縄地区を除く(パナホーム長崎は体制構築中)

化学物質排出・移動量(PRTR法対象物質第1種) (単位: kg)

PRTR法第一種指定物質		取扱量	排出量	移動量	消費量※
物質名	主な用途				
キシレン	塗料・接着剤	4,099	3,574	525	
トルエン	塗料・接着剤	2,691	2,095	558	38
フタル酸ジ-n-ブチル	接着剤	2,053	0	614	1,439
マンガン及びその化合物	溶接ワイヤー	793	30	207	556
エチルベンゼン	塗料、硬化剤、シンナー	634	334	278	22
スチレン	塗料	333	306	27	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	目地シーラー・接着剤硬化剤	99	6	5	88
クロム及び3価クロム化合物	塗料	93	79	0	14
鉛及びその化合物	防錆剤	91	4	2	85
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	冷却剤	25	0	19	6
1,3,5-トリメチルベンゼン	塗料	4	4	0	0
有機スズ化合物	塗料	2.6	0	1.3	1.3
エチレングリコール	パテ、試薬	0.37	0.37		
二硫化モリブデン	設備潤滑剤	0.08	0.08		
ヘキサメチレン＝ジイソシアネート	硬化剤	0.06	0.06		
合計		10,920	6,433	2,237	2,250

※消費量はPRTR対象物質が化学反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外に持ち出される量です。



サイトデータ 各製造拠点毎の環境活動と環境活動実績を詳しく公開しています。
<http://www.panahome.jp/environment/index.htm>

本社工場 所在地:〒527-0124 滋賀県東近江市下岸本町10番地

環境コンセプト:「琵琶湖(MotherLake)の存在を常に認識し、地域環境に配慮した事業活動を行います。」

筑波工場 所在地:〒300-2401 茨城県つくばみらい市台字苗代山1000番地

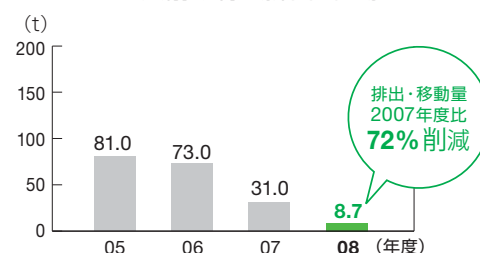
環境コンセプト:「豊かな水と緑と田園に共生する工場を!」

Check

主な改善内容

- ・外壁接着剤の変更によりトルエン、フタル酸ジ-n-ブチルの排出移動量を大幅に削減しました。
- ・塗料色の種類を絞り込み、洗浄作業を減少させるとともに、キシレンの削減を図りました。

●PRTR重点削減物質排出・移動量



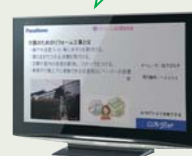
省資源(住宅の長寿命化)につながる取り組み<長期優良住宅への対応>

国土交通省 平成20年度「超長期住宅先導的モデル事業」に採択されました

住宅本体の耐久性向上に加え、パナホームと居住者のテレビを介したコミュニケーションシステムにより、居住者自身の維持管理を促すことで、さらなる住まいの長寿命化を提案しました。また、一般社団法人 移住・住み替え支援機構の「移住・住み替え支援適合住宅」として認定を受けることで、将来的な、転勤時などでも、マイホームを売却することなく、資産として有効活用できます。

エコライフ住宅の基本性能

- ・パワテック(制震パネル)
- ・ピュアテック(2階用涼換気ファン)
- ・キラテック



TVマイホームカルテシステム

- ・取扱説明書の閲覧
- ・お手入れ用品の購入
- ・点検時期のご案内
- ・お手入れアドバイス

パナソニックのデジタルテレビ「ビエラ」の「TVアシスト」機能を活用

社会性報告

パナソニックグループには、「企業は社会の公器」という考え方があります。住宅産業を通じ住生活を向上させることが、パナホームが果たすべき社会への大きな責任です。お客さまが生涯にわたってご満足していただけるような住環境をご提供すること、コンプライアンス風土のあるイキイキとした職場を整備することが、重要です。



パナホームグループの経営理念

ふれ愛・健康・人づくりを基本に「新・くらし文化の創造」を経営の原点と定め

豊かな感性とくらしの知恵で 新しい文化と環境価値を創出し 生活者に生涯満足を贈ることを期するものである

品質・CS(お客さま満足)

商品開発から生産・施工まで、一貫した品質管理体制を構築し、継続的な品質向上・改善に努めています。高品質で精度の高い住宅部材を安定供給するために、適正な計量を実施している証明となる「適正計量管理事業所」として筑波工場が、本社工場と製品試験センターに加え、新たに指定されました。また、建設現場における品質管理の運用をトータル的に監査することにより、品質レベルの強化を図りました。

●品質基本方針

関連する法規制・ISO規格・JIS規格等の公的規格・業界基準等社会的な要求事項への適合は当然のこととし、お客様の要求事項を満たした事業活動をパナホームグループ全体で行うことにより、お客様に生涯に渡るご満足を提供するとともにパナホームブランドに対する社会的信頼を高める。

●ISO 9001 認証取得状況(※)

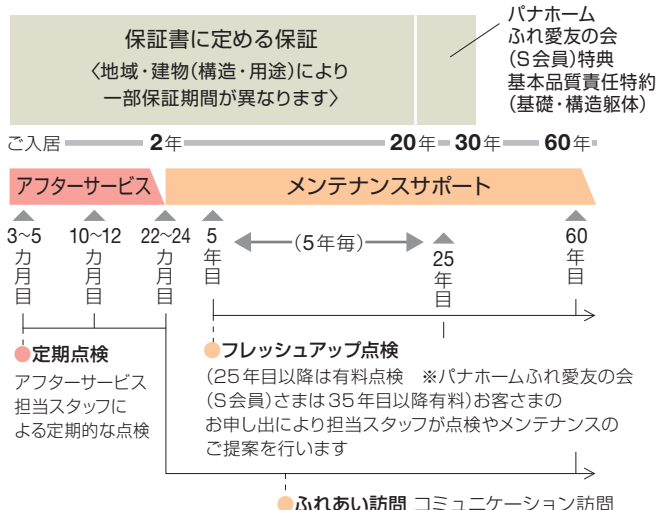
パナホーム(株)	協業会社
生産部門(マルチサイト方式)	(株)パナホーム東海
	(株)パナホーム多摩
商品開発部門	(株)松栄パナホーム熊本
	(株)ナテックス

※登録範囲については、財団法人 日本適合性認定協会 www.jab.or.jp でご確認ください。

パナホームの生涯おつきあいシステム

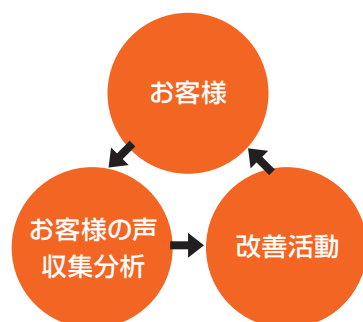
「お客さま」のお住まいに関する「声」を具現化するとともに、大切なお住まいの資産価値を維持し、長く快適にお過ごしいただくために、パナホームは「お客さま第一」をテーマに、ご入居後も末長くサポートし、生涯にわたるご満足を育んでまいります。

●アフターサービス・メンテナンスサポート制度



●お客様の声を経営に活かす ～ CV 推進活動～ (CV: Customer's Voice)

2008年度は、パナホーム全体で29万件にのぼるお客様から、ご依頼事項やご意見などを頂きました。この情報の中から「お客様視点」で収集分析した「声」を、スピーディに関連部署にフィードバックし、商品やサービスの改善につなげています。



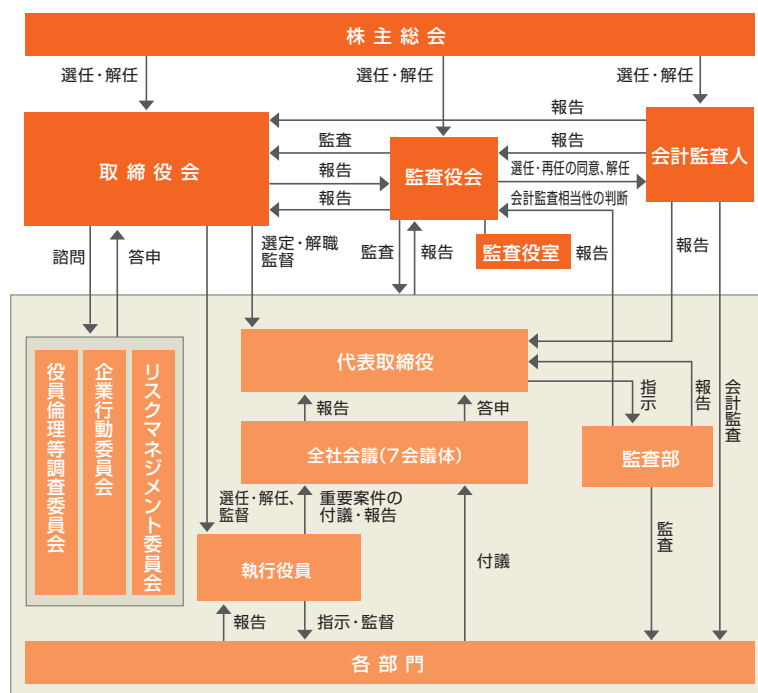
コンプライアンス風土の醸成 コンプライアンス

コーポレートガバナンス・内部統制について

重要な業務執行を決定し、取締役の職務の遂行を監督する取締役会と、取締役会から独立し、取締役の職務の執行を監査する監査役および監査役会によるコーポレートガバナンス体制を構築しています。執行役員制度を導入して、執行役員には業務執行責任を負わせ、取締役会には経営における意思決定と監督に集中させるガバナンス体制を敷き、取締役の責任を明確にしています。

内部統制については、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を指針に、システムの構築を図っています。また、リスクマネジメント委員会を中心に、全社のリスク情報を一元的・網羅的に収集・評価するリスクアセスメントを実施し、その重要性に応じてリスクへの対応を図っています。

●ガバナンス体制



コンプライアンスの取り組み

「パナソニックグループ行動基準」を制定し、その順守徹底を図っています。また、「コンプライアンス・ガイドブック」を配布するとともに、毎年10月をコンプライアンス月間と定め、計画的な教育を継続的に実施しています。

さらに、コンプライアンス風土の定着度合いや課題を把握するために、コンプライアンス意識実態調査を実施しています。



パナホームホットラインの運営

倫理・法令違反の早期発見・解決とコンプライアンスの徹底を図るため、「企業倫理ホットライン」「セクハラ・パワハラホットライン」「監査役通報システム」を設置しています。

2008年度は、年間13件の通報・相談を受理し、課題を早期に発見して、是正・再発防止を図りました。



誰もが働きやすい職場をめざして

〈このページの内容は、パナホーム(株)を対象としています〉

●基本方針

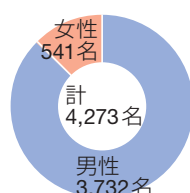
「事業の根幹は人であり、企業の財産も人である」というパナソニックグループの理念のもと、一人ひとりの能力を最大限に活かし、誰もがやりがいを持っていきいきと働くことができる環境づくりに努めています。

多様な人材が活躍できる組織をめざして

私たちは性別や年代を問わず、意欲・能力のある人を支援し、その能力を最大限に発揮できる環境を整備するために、全社方針と目標数値を掲げ、積極的に取り組んでいます。

多様な属性や多様な価値観を認め合い、互いに活かしあえる組織をめざしています。

●従業員の男女比率



(2009年3月31日現在)

●ポジティブ・アクション進捗状況

	女性幹部社員比率	女性役割着任者比率	新卒採用女性比率
2005年度実績	5%	7%	16%
2008年度実績	6.1%	9.8%	30.6%
2010年度目標	10%	15%	25%以上

※幹部社員・役割着任者については対象層における比率

主な取り組み

現在は、女性社員のネットワーク形成支援と全社員を対象とした啓発活動を中心に取り組んでいます。

社内での取り組み

管理職を対象とした研修

新たに管理職となった社員を対象に意識改革のための研修を実施しています



ワーキングマザー交流会

育児休業復帰直後の社員と先輩社員とで交流を行っています



eラーニングによる意識啓発

セクハラやパワハラの防止を含めて全社員を対象に定期的に意識啓発を図っています



社外との連携

ウーマンズネットワーキングフォーラム

女性社員を対象とした異業種フォーラムに幹事として参画しています
参加企業58社、550名



住宅メーカー女性営業情報交換会

当社の呼びかけにより、営業職では珍しい同業種での情報交換会を定期的開催しています



ダイバーシティ西日本勉強会

企業の推進担当者が集う勉強会にも積極的に参画し、企業を超えた連携を図ります



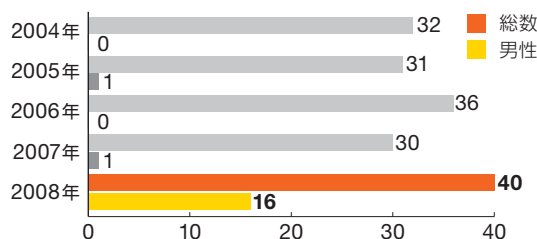
ワークライフバランスの向上をめざして

仕事以外のプライベートな時間を誰もが等しく大切にできるような風土をめざして働き方の見直しについて様々な切り口で取り組んでいます。

- ・各部署でのワークライフバランス委員会の設置
- ・育児や介護に限らず、事由を問わず可能な在宅勤務
- ・男性の育児参加支援、育児休業取得促進
- ・自己啓発、公的資格取得支援



●育児休業取得者数



社会貢献活動

〈このページの内容は、パナホーム(株)を対象としています〉

2008年度、パナソニックグループは創業90周年、パナホーム株式会社は、創立45周年を迎えました。これを機に、全社員が心をひとつにし「環境活動」を軸に「地域社会貢献活動」・「教育活動」に取り組み、「環境にやさしい地域社会に貢献するパナソニックグループ」を創出する「全社イキイキ運動」を労働組合と連携し展開しました。具体的な内容は、「全社共通」と「地域に根ざした活動」の両輪で展開しました。

【キックオフイベント】

富士山火山荒地「植林活動」への参加

パナソニック電工労連とのタイアップにより、富士山南東側斜面の火山荒地に植林活動を行いました。



全社共通活動一覧

①

パナソニックグループ
LE運動「環境家計簿」への参加

②

パナホーム版「ライトダウンキャンペーン」

実施日を設定し、家庭で20～22時まで、自然やキャンドルの灯りで過ごします。「ワーク・ライフ・バランス」を考える大切な機会としても実施を呼びかけました。



③

パナホーム「ちょボラ45」運動への参加

全社員が「気軽」に「身近」に「ちょボラ」(ちょっとしたボランティア)を合言葉に社会貢献に取り組みました。

地域に根ざした活動一覧

茨城支社

平成20年度より「パナホームカップ」として協賛し、茨城県内スポーツ振興の支援を行いました。



パナホームカップ全国小学生
ABCバドミントン大会 茨城県予選会

千葉支社

千葉・京葉地区を中心とした少年野球46チームを対象としたリーグ戦を主催しました。



少年軟式野球大会
「パナホームカップルーキーリーグ」

埼玉支社

小学校で行われた『エコフェスティバル』にて環境学習の講師として授業を行いました。



越谷市立大袋東小学校
「エコフェスティバル」

九州支社・西部営業本部

地域で開催される盆踊り大会の団扇をお配りするなど、盆踊りの盛り上げに貢献いたしました。



地域の盆踊り大会への参画

近畿営業本部

各自家庭で植物を育てました。苗木購入時と運動終了時の写真を事務局で集め、植物の成長を皆で確認しました。(参加：551名)



家庭で
グリーン栽培
プロジェクト

本社

家庭で不要な本を集め、(社)シャンティ国際ボランティア会を通じ、アジアの子供達への教育・文化活動に貢献するため、寄付を行いました。



リサイクル
ブックエイド

あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome



パナホーム「エコライフ住宅」は、(財)建築環境・省エネルギー機構により、環境共生住宅システム供給型の認定を受けました。パナホームの戸建住宅商品は、CASBEE 一すまい[戸建]のSランクを満たすことで「環境共生住宅」となります。



パナホーム株式会社 〒560-8543 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番4号

パナホームのホームページ www.panahome.jp

表紙について 「新エネ百選」に選定された、パナホームシティ西神南Ⅰ・Ⅱ(神戸市西区)→ 詳細は、P5 参照

2009年6月発行 41141A1-010109